

平成 31 年度南城市尚巴志塾事業実施業務 業 務 仕 様 書

1. 業務名

平成 31 年度南城市尚巴志塾事業実施業務

2. 業務の履行期間

契約締結日の翌日～平成32年3月19日

3. 対象地域

南城市内

4. 業務の目的

1) 本事業は、南城市歴史文化基本構想における保存活用地区において、地域に根付いた歴史・文化生活に対する新たな気付きのきっかけとなるよう、地域を知り、活用することができる人材育成を目的とした事業を実施する。

対象地域は、保存活用地区として選定され、南城型エコミュージアムのサテライト候補地とし、すでに確認されているさまざまな素材等を活かした地域活性化に資する人材育成のための事業を実施する。

2) 対象自治会

南城市歴史文化基本構想・保存活用地区における9地域で実施
(手登根、稲嶺、知念、百名、新原、玉城、富里、當山、奥武)

5. 業務の概要

- (1) 計画条件の把握及び整理
- (2) 対象地域の把握及び整理
- (3) マップ作成・印刷製本の実施
- (4) 事業の実施及び運営
- (5) 成果報告書の作成

6. 業務の内容

(1) 計画条件の把握

本事業の目的や南城市歴史文化基本構想・保存活用計画、尚巴志活用マスタープラン、南城型エコミュージアム実施計画等、関係する既往計画、また、事業実施の経緯や要件などに関連する基本的な条件を把握し、整理する。

(2) 対象地域の把握

事業の対象となる9地域について事前に散策し、文献資料等から歴史的・社会的背景を把握するとともに、所在する文化遺産を把握し、整理する。

(3) マップ作成の実施(5回)

本事業の目的は、南城型エコミュージアムのサテライトにおける人材育成であることから、サテライト候補地で、南城市歴史文化基本構想・保存活用地区に該当する地域において、事業を実施する。

実施にあたっては、地域でのワークショップや現地散策を実施し、参加者自らが地域に残る文化遺産や地域の方々と直接触れることで、地域の宝を抽出し、活用していくことができるよう、その手段として地域廻りのマップ作成を行う。マップ作成後には、各地の地域廻りを実践し、新たな発見や課題について話し合い、より充実したものとする。

作成したマップについては、地域ごとにデータ化し、今後の活用に供することができるように整えるとともに、これまでの3ヵ年分のマップをデザイン化し取りまとめたマップ集を作成する。また、育成された人材の活用方法等について検討する。

(4) 事業の実施及び運営

事業を実施するにあたっては、必要な諸準備を行い、対象地域において事前に詳細な調整のもと、効率的に事業を実施する。

事業終了後には、実施地域並びに参加者へのアンケートを実施し、分析を行う。

(5) 成果報告書の作成

事業実施後は、速やかに成果報告書を作成し提出するものとする。内容については、目的がどのような手法でどのように達成できたかということを経験的かつ具体的に表現すること。

7. 打合せ協議

本業務における打合せは、原則月1回とする。但し、協議の上必要に応じて随時実施する。

8. 成果品

- (1) 業務報告書(A4版・フラットファイル綴り) 2部
- (2) 成果報告書(A4版・フラットファイル綴り) 3部
- (3) アンケート並び結果一覧表 1部
- (4) 上記のデータ(CD-R) 1枚
- (5) マップ集の印刷製本 300部(データはCD-Rにて提出)
- (6) マップのデータ(CD-R) 1枚
- (7) その他、発注者との協議によるもの

9. 協議について

本業務の実施に際し、担当者と連絡を密にとること。本仕様書に記載されていない事項が発生した場合、あるいは本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合には、速やかに本市と協議すること。

10. その他

本仕様書における年号は新しい年号が施行されたときから読み替えるものとする。